

けやき倶楽部歴史グループ 例会 4 月度活動報告

日時	2021 年 3 月 17 日～2021 年 4 月 19 日
場所	各会員自宅メール学習継続 4/20=各自宅にてオンライン会議例会。
参加数	資料提出： 6 名 例会参加者： 23 名
例会内容	<p>3/31 01-W k y 「惟康将軍について」</p> <p>4/ 3 02-W k b 「鎌倉幕府荘郷地頭」</p> <p>4/ 7 03-W k y 「得宗専制と永仁の徳政令」</p> <p>4/10 04-T k i 「楠木正成の出自他について」</p> <p>4/10 05-O k i 「小御門神社から観た藤原帥賢」</p> <p>4/14 06-W k b 「正統天皇と万世一系」</p> <p>4/14 分科会=01 Y k i 「大航海時代戦後史（高校世界史の復習）」</p> <p>4/15 07-U n o 「弘安徳政における国分寺・一宮の興行について」</p> <p style="text-align: center;">－4/20－13：30－15：30 以下オンライン例会活動－</p> <p>02-W k y 「惟康将軍について」=将軍をあるべき姿に戻し源氏将軍を誕生させるのは執権・時宗の頃からの発想。その後「惟康親王」と名乗るも 2 年後には州群を辞し上洛、出家、嵯峨で隠遁生活後の動静は不明。63 歳で薨死。お飾りの将軍であったか。</p> <p>03-W k y 「得宗専制と永仁の徳政令」=北条得宗家が権力を握り政治を運営した政治形態。1) 北条一門による中央要職への進出 2) 北条氏による地方要職へ占取 3) 北条氏一門の惣領の地位・強化 4) 北条氏御内人の勢力強化 5) 評定会議機能の形骸化 6) 多くの得宗領の所領増加 【得宗専制政治】=霜月騒動を画期として得宗専制政治が達成が未来についてのビジョンはなく、訴訟は停滞、賄賂が横行（平禅門の乱）が起こる貞時の時代は独善的で改革は進まず「永仁の徳政令」で貨幣経済が進むも蒙古襲来による御家人たちの借入債務を軽減する徳政令がだされが実効はなく翌年撤廃。テキスト p 176～177-永仁徳政令を口語訳で紹介。</p> <p>3 月 06-T c d 「北条時宗とその時代のなぜ？」=1-名前が「北条」「時」「宗」なのか。2-「時宗」は元に対して強硬にでたのか。3-神風は吹いたのか。4-「元寇」というのか。5-時宗は急死したのか。6-鎌倉の始まりが「1192 年」になったのか。7-頼朝は「征夷代将軍」の官位を 2 年で返上したのか。8-北条氏は「征夷代将軍」にならなかったのか。9-京都でなく鎌倉に幕府を置いたのか（後藤寿一の著書・北条時宗とその時代）から、なぜの解説を記す。<u>3-神風の項目には興味をひかれた。</u>インターネットより伊豆・蛭ヶ島公園・長岡温泉の紹介。</p> <p>04-T k i 「楠木正成の出自他について」=1-恐るべし、楠木正成。2-楠木氏はどこからきたのか。3-楠木氏系図。4-正成・正行関係略年表。読売新聞夕刊・日本史アップデートから記事紹介+足利尊氏関連記事。正成は駿河の楠木村の出身を紹介。</p>

次回	例会 =5月18日(火) 13:30-15:30・オンライン例会-各自自宅 PC にて参加。4月資料の残り四部・テキスト第五章。 分科会 =5月18日(火) 10:30-12:00 オンライン例会-各自自宅 PC にて参加。『東インド会社とアジアの海』第一章。
次々回	例会 =6月15日(火) 13:30-15:30・オンライン例会-各自自宅 PC にて参加。テキスト第五章。 分科会 =6月15日(火) 10:30-12:00・オンライン例会-各自自宅 PC にて参加。テキスト第一章 継続。